

2025 年度

令和7年度 事業報告書

特定非営利活動法人 心魂プロジェクト

2025年4月1日～2026年3月31日



NPO法人
心魂プロジェクト

目次

1. 法人の概要	2
2. 事業の成果	2
当年度事業計画に対する主な進捗	4
2025年度 活動を通じて見られた主な変化	4
2025年度 主な活動の様子	5
3. 事業の実施に関する事項	8
3-1. 公演活動事業	8
3-2. ワークショップ事業	10
3-3. 講演会事業	11
3-4. 作品制作及び販売事業	12
3-5. 教育プログラム事業	12
4. 法人運営に関する事項	13
4-1. 法人拠点施設「心魂研究所」の整備	13
4-2. 社宅使用規定及び契約書の整備	13
5. 2025年度 主な受賞・掲載実績	14
(1) 社会貢献者表彰 受賞	14
(2) 第56回 博報賞 受賞	14
(3) 主なメディア掲載・取材(一部抜粋)	14
1. TBS「news23」密着取材・特集放送	14
2. 朝日新聞 全国版朝刊 一面掲載	15
3. 神奈川新聞掲載(博報賞関連記事)	15
6. 今後の展望	16
7. 2025年度 決算報告	17
8. 会議の開催に関する事項	18
巻末資料	18
資料1-1 公演事業・主な対面、ハイブリッド公演一覧	18
資料1-2 公演事業・主なオンライン公演一覧	21
資料2 主なワークショップ等実施一覧	22
資料3 講話・研修活動実施一覧	23
資料4 主な教育事業実施一覧	23
資料5 助成・協賛事業一覧	24
資料6 活動実施地域数	24
資料7 連携機関・団体数	24
連携プロジェクト紹介	24

1. 法人の概要

法人名

特定非営利活動法人心魂プロジェクト

主たる事務所所在地

神奈川県横浜市西区北幸1丁目11-1 水信ビル7階

定款上の目的

この法人は、病院・施設・難病の活動団体・被災地など、劇場へ行くことが難しい方々及び企業・団体・個人に対して、【ミュージカル】【絵本ミュージカル】【飛び出す紙芝居】【ライブ】等の公演並びに【ミュージカルワークショップ】等、心が元気になる体験や活動に関する事業を行い、福祉の増進及び子どもの健全育成に寄与することを目的とする。

事業年度

令和7年度（2025年4月1日～2026年3月31日）

報告対象年度の主な活動概要

当年度は、難病児・障がい児・きょうだい児及びその家族、医療・福祉・教育関係者等を対象として、定款に定める各事業を実施した。

主な活動として、病院・施設・学校等での対面公演、オンライン配信、公演連動型ワークショップ、講演会、楽曲・映像等の作品制作、心魂キッズ団及び社会人パフォーマーチーム等を対象とした教育プログラムを実施した。

年間を通じて、公演活動を719回、ワークショップを21回、講演会を9回、教育プログラムを25回実施し、延べ15,614人が参加した。オンラインと対面を組み合わせながら、全国各地の病院、特別支援学校、福祉施設、自宅療養中の子どもたち等へ継続的に活動を届けた。

また、活動を通じて、子どもたちの主体的な表現や挑戦する姿勢、自己表現・自己肯定感の変化等が見られ、家族や支援者、教育・医療関係者との新たな関わりや理解促進にもつながった。

2. 事業の成果

当年度は、定款に定める「公演活動事業」「ワークショップ事業」「講演会事業」「作品制作及び販売事業」「教育プログラム事業」の5事業に基づき、難病児・障がい児・きょうだい児及びその家族、医療・福祉関係者、学校・企業・団体等を対象として、歌や踊り等のパフォーマンスを通じた事業を実施した。

主な活動として、病院・福祉施設・学校等への対面公演、オンライン配信、ハイブリッド公演、参加型ワークショップ、講演・普及啓発活動、教育・講座活動等を行った。

当年度の活動実績は、総計774回、参加人数は延べ15,614人、再生回数は346,262回、上演・実施時間は46,107分であった。内訳は、公演活動719回、ワークショップ21回、講演・普及啓発活動9回、教育・講座25回である。

特に公演活動事業では、対面公演に加えてオンライン配信を継続的に実施し、病室、施設、自宅等からも参加・視聴できる機会を提供した。これにより、劇場等への来場が困難な子どもたちや家族に対し、対面及びオンラインの双方から芸術体験の機会を提供した。

また、講演会事業及び普及啓発活動を通じて、医療・福祉・教育・企業等の関係者に対し、難病児・障がい児・きょうだい児とその家族を取り巻く状況及び芸術体験の意義について理解促進を図った。

なお、再生回数はオンライン配信等の視聴実績を示す指標であり、参加人数とは別に集計している。各事業の実施回数、受益対象者、受益者人数及び支出額については、次項「事業の実施に関する事項」に記載する。

主な助成・協賛

本年度は、助成事業、企業協賛事業、有料公演、法人主催企画等を通じて、助成団体・企業等からの支援も受けながら、全国各地で継続的に活動を実施した。

【助成】

- ・日本財団 TOOTH FAIRY プロジェクト
- ・野村グループ基金 みらい助成プログラム

【協賛】

- ・日本生命協賛ころだま公演
- ・日本メナード化粧品協賛台湾公演

表 1 定款事業別 実施実績・到達状況

定款事業ごとの実施状況及び到達状況は以下の通りである。

定款上の事業区分	実施回数	総実施時間	再生回数	参加人数
① 公演事業	719 回	28,762 分	344,749 回	12,373 人
② ワークショップ事業	21 回	910 分	150 回	1,127 人
③ 講演事業	9 回	500 分	1,363 回	720 人
④ 販売事業	—	—	—	—
⑤ 教育・講座事業	25 回	15,935 分	—	1,394 人
合計	774 回	46,107 分	346,262 回	15,614 人

※作品制作及び販売事業については、活動内容を別項に記載。

表 2 全事業を対象とした実施形態別集計

実施形態別の実施状況及び到達状況は以下の通りである。

実施形態	実施回数	総実施時間	再生回数	参加人数	主な指標
オンライン	587 回	20,212 分	341,555 回	680 人	再生回数
ハイブリッド	27 回	16,050 分	3,023 回	237 人	会場参加人数 + 再生回数
対面	160 回	9,845 分	1,684 回	14,697 人	参加人数
合計	774 回	46,107 分	346,262 回	15,614 人	—

表 3 公演活動事業のみを対象とした集計

公演活動事業における実施形態別内訳は以下の通りである。

実施形態	実施回数	総上演時間	再生回数	参加人数	1回あたり平均時間
オンライン	586回	20,152分	341,555回	650人	約34分
ハイブリッド	2回	170分	2,943回	23人	約85分
対面	131回	8,440分	251回	11,700人	約64分
合計	719回	28,762分	344,749回	12,373人	約40分

注記

※「実施回数」は、活動一覧に記録された各事業の実施回数を集計しています。

※「総実施時間」は、各活動の上演時間・実施時間を合計したものです。

※「参加人数」は、対面参加、申込、Zoom参加等により人数を把握できた活動のみを集計しています。

※「再生回数」は、YouTube等のオンライン配信及びアーカイブ視聴の回数を示すものであり、参加人数とは異なる指標です。

※オンライン活動では参加人数の把握が難しい場合があるため、再生回数をオンライン上での到達状況を示す参考指標として記載しています。

※ハイブリッド活動では、会場参加人数とオンライン再生回数をそれぞれ別指標として記載しており、参加人数と再生回数は合算していません。

当年度事業計画に対する主な進捗

2025年度事業計画においては、対面活動の充実、法人拠点施設「心魂研究所」の整備、「日本生命協賛ころだま公演」の開始、地方版「ワクワクつながる祭典」の実施、千葉県内での重点的な活動、海外公演拡大に向けた取り組み等を重点項目として掲げていた。

本年度は、これらの計画に基づき、全国各地での対面公演及びオンライン配信を継続するとともに、企業協賛による公演活動、地域団体・医療福祉機関・教育機関との連携、地方での大型企画、台湾での公演活動等を実施した。

その結果、活動実績は総計774回、参加人数は延べ15,614人、再生回数は346,262回となり、オンラインと対面双方を活用しながら、難病児・障がい児・きょうだい児及びその家族、医療・福祉関係者、学校・企業・地域団体等へ継続的に活動を届けることができた。

また、法人拠点施設の取得・整備を進めたことにより、今後の配信・創作・稽古・人材育成等を継続的に行うための基盤整備に着手した。

2025年度 活動を通じて見られた主な変化

本年度の活動を通じて、難病児・障がい児・きょうだい児及びその家族において、自ら表現しようとする姿勢や、挑戦への意欲、主体的な参加等の変化が見られた。

特別支援学校や福祉施設等においては、公演出演に向けたワークショップや表現活動を実施し、子どもたちが自ら「ステージに出たい」「やってみたい」と意思表示を行う場面が多く見られた。また、その様子を見た教職員や施設スタッフ等からは、「新たな一面に気づくことができた」「表現を引き出す関わり方が勉強になった」等の声も寄せられ、表現活動を通じた子ども理解や支援方法への気づきにつながった。

さらに、講演会や企業・学校等との連携活動を通じて、難病児・障がい児・きょうだい児及びその家族を取り巻く現状や、芸術体験・表現活動の意義について理解促進を図った。

表 4 2025 年度重点取組の進捗

重点取組	計画内容	2025 年度の主な進捗
心魂研究所の整備	千葉県内に法人拠点施設を整備し、2026 年の本格稼働を目指す	拠点施設を取得し、配信・稽古・創作・人材育成の拠点として整備を進めた
日本生命協賛こころだま公演	各地の特別支援学校、病院・施設への公演、オンライン配信、日本生命職員向けセミナーを開催	全国の特別支援学校、病院・施設への公演を、計画に応じて実施した
ワクワクつながる祭典・地方版	地方都市で初開催し、地域の子どもたちと医療福祉団体が出会う機会をつくる	秋田県で地方版企画を実施し、地域における連携及び理解促進の機会を創出した
千葉特別プロジェクト	拠点移転に伴い、千葉県での活動を重点的に実施	千葉県内の病院・福祉施設・支援団体等との連携活動を実施した
海外公演拡大	アジア地域への活動展開を目指し準備を進める	台湾での公演活動を実施し、海外展開に向けた基盤づくりを進めた

2025 年度 主な活動の様子

本年度は、対面公演、オンライン配信、ワークショップ、地方企画、海外公演等を通じて、全国各地で活動を実施した。



写真：体育館公演の様子



写真：表現する子ども達



写真：ワークショップの様子



写真：心魂キッズ団の活動



写真：公演に参加するキッズ団と社会人パフォーマー



写真：病院公演の様子

※掲載写真は 2025 年度活動の一部です。

※掲載写真については、本人・保護者及び関係機関等の確認・許可を得たものを使用しています。



写真：心魂主催イベント「ワクワクつながる祭典 2026」関係者集合写真 横浜大さん橋ホールにて

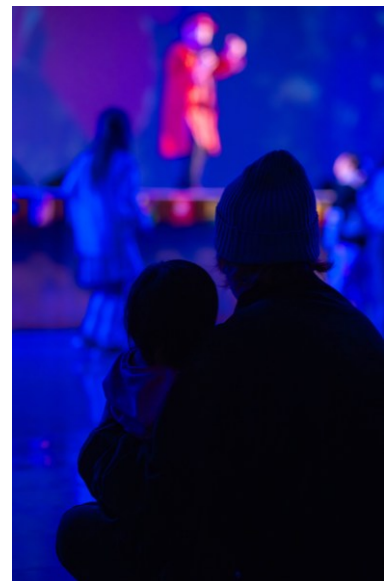


表 5 2025 年度活動実績サマリー

項目	実績
総実施回数	774 回
総参加人数	15,614 人
配信再生回数	346,262 回
実施地域	全国 24 地域（台湾含む）
主な実施先	病院・特別支援学校・福祉施設・地域団体等
主な実施形態	対面・オンライン・ハイブリッド

3. 事業の実施に関する事項

3-1. 公演活動事業

実施概要

難病児・障がい児・きょうだい児及びその家族、医療・福祉関係者、支援団体関係者等を対象として、オンライン配信、病院・福祉施設・学校等への訪問公演、地域会場での対面公演等を実施した。照明・映像・音響等も活用しながら、「本格的な劇場空間」と、子どもたちや参加者と共に空間を創り上げる参加型・双方向型のパフォーマンスを各地へ届けることを大切に、オンラインと対面を組み合わせながら、全国各地で継続的に活動を実施した。

実施実績

当年度は、公演活動を計 719 回実施し、参加人数は延べ 12,373 人、再生回数は 344,749 回、上演時間は 28,762 分であった。実施形式の内訳は、オンライン 586 回、ハイブリッド 2 回、対面 131 回である。

オンライン配信を継続的に実施することで、病室、施設、自宅等からも参加・視聴できる機会を確保した。対面公演においては、病院、福祉施設、学校、支援団体等と連携し、照明・映像・音響等も活用しながら、対象者の状況に応じた「本格的な劇場空間」を届ける活動を実施した。

また、公演中には、子どもたちや参加者が歌、身体表現、視線、声、リアクション等、それぞれの方法で参加し、会場やオンライン上で共に空間を創り上げる参加型・双方向型の活動を展開した。

表 6 公演活動事業 活動区分別実施実績

活動区分	実施回数	参加人数	再生回数	上演時間(分)
病院・福祉・当事者団体向け活動	88	4,884	521	5,195
支援学校活動	37	4,525	21	2,485
オンライン活動	572	149	340,736	19,252
ハイブリッド活動	1	3	2,863	130
地域・会場型活動	11	1,240	—	1,110
コラボレーション企画	4	500	—	130
学校・企業向け活動	5	1,020	357	335
当事者共創型公演	1	52	251	125
合計	719	12,373	344,749	28,762

※参加人数は把握可能な人数のみを集計している。

※オンライン活動は再生回数を到達状況の参考指標として記載している。

※再生回数はオンライン配信及びアーカイブ視聴回数であり、参加人数とは合算していない。

※本表は活動内容別集計であり、実施形態別集計とは分類方法が異なる。

実施体制

本年度の事業実施にあたっては、プロパフォーマーに加え、難病児・障がい児・きょうだい児による「心魂キッズ団」、社会人パフォーマー、医療福祉従事者、難病児・障がい児家族、ボランティ

アスタッフ等、多様な立場のメンバーが共に活動を支え、継続的に事業を実施した。
また、本年度は企業ボランティアも公演運営等に参加し、企業との協働による活動づくりを進めた。

実施結果

本年度は、2025年度事業計画で掲げた「対面公演の充実」を重点方針の一つとして、病院、福祉施設、特別支援学校、地域会場等での対面公演を積極的に実施した。感染症対策等に配慮しながらも、現地で子どもたちや家族、関係者と直接出会い、同じ空間で音楽やパフォーマンスを共有する機会を広げることができた。

特に病院公演においては、感染対策を継続しながら活動を積み重ねたことで、クリーンルームでの公演実施等も行うことができた。機材消毒や衣装管理等を含めた安全配慮を徹底しながら、医療機関との継続的な連携のもと、公演活動を実施した。

2025年度より開始した「日本生命協賛こころだま公演」では、特別支援学校や病院・施設におけるミュージカル公演の実施をはじめ、全国の当事者キッズを対象としたオンライン公演、日本生命職員向けセミナーなどを展開し、企業協賛による継続的な活動基盤の拡大に努めた。特に対面公演においては、事前ワークショップを通じて子どもたちとの関係性を育みながら、出演者と参加者が共に空間を創り上げる公演活動を実施した。地方における連携強化の取り組みとして、秋田県で「ワクワクつながる祭典・地方版」を実施した。地域事業所「にのに」と連携し、従来、横浜みなとみらい・大さん橋ホールで開催してきた大型イベントを地方都市へ展開することで、当事者キッズや家族だけでなく、地域の子もたち、医療福祉団体、企業・団体等が出会い、つながる機会を創出した。特に、地域資源や交流機会が限られる地域において、多様な人々が表現活動を通じて出会い、共に時間を過ごす機会を創出できたことは、地域連携及び理解促進の観点からも大きな意義のある取り組みとなった。

千葉県内においては、法人拠点施設の整備に伴い、地域に根ざした団体としての活動基盤づくりを進めるため、病院・福祉施設・支援団体等への訪問や連携活動を実施した。新たな地域団体や行政関係者との出会いも生まれ、2026年度以降の地域イベントや協働企画等につながる基盤形成を行った。

海外展開に向けた取り組みとしては、継続的に交流を行っている台湾において公演活動を実施した。本年度は、日本メナード化粧品株式会社の協賛により海外公演を実施することができた。また、横浜大型イベントへの海外関係者の来場等、新たな交流機会も生まれた。一方で、海外展開については継続的な関係構築や実施体制等を含め、引き続き模索・検討を行う段階にある。

医療・福祉・教育機関、地域団体、企業等との連携を通じて、難病児・障がい児・きょうだい児を取り巻く環境や、多様な表現・参加のあり方への理解促進につながった。

参加者の声

本年度の公演活動では、参加した子どもたち、家族、医療・福祉・教育関係者等から、多くの感想や反響が寄せられた。

- ・「体育館が瞬く間に劇場空間となり、世界を旅したような感覚になった」
- ・「病室や自宅では体験できない“本物の舞台”に触れることができた」
- ・「子どもが笑顔を見せたり、身体を動かしたり、それぞれの方法で参加していた」
- ・「“どんな方法でも参加していい”という言葉に安心して参加することができた」
- ・「きょうだい児や家族にとっても、心が動く大切な体験となった」
- ・「ワークショップを通じて子どもたちが自信を持ち、公演当日は主体的に表現する姿が見られた」

- ・「地域の子どもたち、家族、医療福祉関係者、企業等が出会い、つながる機会となった」
- ・「外出や劇場鑑賞が難しい状況にある中で、“また参加したい”と思える特別な時間となった」

3-2. ワークショップ事業

実施概要

難病児・障がい児・きょうだい児及びその家族、医療・福祉関係者、教育関係者、支援団体関係者等を対象として、音楽や身体表現等を活用した参加型ワークショップを対面形式で実施した。参加者一人ひとりの状況や特性に応じながら、「表現する」「感じる」「挑戦する」機会づくりを行った。

今年度は、公演前日に翌日本番へ出演する子ども達や参加者を対象とした事前ワークショップを各地で実施した。歌やダンス、身体表現等を通じて、安心して本番に参加できる環境づくりを行うとともに、「自分も表現者として舞台に立つ」体験につなげた。

表 7 活動区分別実施実績

活動区分	実施回数	参加人数	再生回数	上演時間 (分)
病院・福祉・当事者団体向け活動	3	95	—	150
支援学校活動	15	1,010	150	550
地域・会場型活動	2	7	—	120
学校・企業向け活動	1	15	—	90
合計	21	1,127	150	910

実施体制

本事業は、プロパフォーマーを中心に、社会人パフォーマー、企業ボランティアスタッフ、育成メンバー等、多様な立場のメンバーが連携して実施した。

また今年度は、特別支援学校教員や施設スタッフ等も事前準備及び当日の表現活動に参加し、子ども達と共に空間を創り上げる形で実施した。

実施結果

ワークショップ事業を通じて、難病児・障がい児・きょうだい児及びその家族等に対し、「表現活動へ主体的に参加する機会」を提供した。

今年度は、公演前日の事前ワークショップを通じて、翌日本番へ出演する子ども達や参加者が、歌やダンス、身体表現等に挑戦しながら、本番へ向けた準備を行った。本番では、ワークショップで取り組んだ表現活動を実際の舞台空間で発表する姿が見られた。

また、特別支援学校教員や施設スタッフ等も子ども達と共に表現活動へ参加し、「子どもとの関わり方や表現の可能性について学びになった」といった声も寄せられた。

参加者・関係者の声（抜粋）

今年度実施したワークショップ事業では、参加者本人だけでなく、保護者、学校教員、医療・福祉関係者等からも多くの声が寄せられた。特に、公演前日の事前ワークショップを通じて、子ども達が安心して本番へ参加できたことや、「鑑賞する側」ではなく「表現する側」として参加できたことへの反響が多く見られた。

【参加者の声】

「前日のワークショップでは不安だったけど、当日は楽しく参加する事ができました。みんな優しく話しかけてくれて嬉しかったです。」

【学校関係者の声】

「児童生徒がパフォーマーとして一緒に参加できる経験ができ、すばらしかったです。」

【保護者の声】

「『自分なりの方法で参加していいんだよ。どんな方法でもいいんだよ。』と行ってくださって、横にいる私自身の気持ちも安心して参加できました。」

【支援者の声】

「いつものダンス会と違う子どもたちの姿を見て感慨深い思いでした。」

3-3. 講演会事業

実施概要

難病児・障がい児・きょうだい児及びその家族を取り巻く現状や課題、また心魂の活動を通して見てきた景色について話してほしいとの依頼を受け、講演活動を実施した。

本年度は、大学授業、企業セミナー、勉強会等へ講師として招かれ、心魂プロジェクトの活動や、これまで現場で出会ってきた子ども達・家族との実践について共有を行った。実施内容に応じて、心魂キッズ団メンバーや難病児・障がい児の保護者等が登壇し、自身の体験や想いを発信したほか、パフォーマンスを交えながら実施する機会もあった。

また、「体験格差」や「共に生き合う社会」をテーマに、活動を通して見てきた子ども達の変化や成長、表現が生み出す力について伝えることで、参加者が現状や社会のあり方について考えるきっかけづくりを行った。

一部企画ではオンライン配信も活用し、地域を問わず参加できる環境整備を進めた。

主な実施内容表

表 8 活動区分別実施実績

活動区分	実施回数	参加人数	再生回数	上演時間 (分)
病院・福祉・当事者団体向け活動	2	30	80	130
コラボレーション企画	1	100	1,283	60
学校・企業向け活動	6	590	—	310
合計	9	720	1,363	500

実施体制

本事業は、プロパフォーマーだけでなく、心魂キッズ団メンバーやその家族、社会人パフォーマー等が連携して実施した。

講演内容の企画・構成においては、実際の活動現場で得られた経験や参加者の声をもとに、対象者や実施内容に応じた調整を行った。

また、オンライン配信やハイブリッド開催に対応するため、配信運営や機材管理を含めた体制整備を行った。

実施結果

講演会事業を通じて、難病児・障がい児・きょうだい児及びその家族が置かれている状況や、表現活動の意義について、幅広い層へ発信することができた。

参加者からは、

「支援ではなく、共に生きる視点を学んだ」「実際に現場へ行き、ボランティアとして参加したい」等の声が寄せられた。また、当事者自身が社会へ向けて発信する機会を創出したことで、自己表現や社会参加への意欲向上につながる場面も見られた。

3-4. 作品制作及び販売事業

実施概要

心魂プロジェクトの理念や活動を広く伝えることを目的として、過年度に制作したオリジナルグッズ、CD、書籍等の販売を継続して行った。

実施実績

当年度は、新規グッズ・作品等の制作は実施せず、既存作品を中心とした限定的な販売対応を行った。

表 9 活動区分別実施実績

活動区分	実施内容
グッズ販売	既存作品・在庫商品の販売
新規制作	実施なし

実施体制

必要に応じて、法人スタッフ及び関係メンバーにより対応を行った。

実施結果

当年度は、公演活動、ワークショップ活動、拠点整備等を優先して取り組んだため、作品制作及び販売事業については限定的な実施となった。一方で、既存作品を通じて、法人活動や理念を伝える機会の維持に努めた。

3-5. 教育プログラム事業

実施概要

難病児・障がい児・きょうだい児によるチーム「心魂キッズ団」、また活動に関わる医療関係者、特別支援学校教員、病児・障がい児の保護者、一般企業勤務者等による「社会人パフォーマー」等を対象として、表現活動を通じた教育プログラム及び人材育成活動を実施した。

主に、社会人パフォーマー育成講座を通じて、「パフォーマーとしての技術」「心を表現する力」「公演現場で必要となる実践力」を育むことを目的とした育成を行った。

心魂キッズ団及び Youth 心魂についても、オンライン配信や対面公演等へ継続的に参加し、表現力の向上、自信の獲得、自らの想いを社会へ届ける力を育む機会づくりを行った。

また、学校等における教育的な講話・交流の機会も実施し、表現活動を通じた学びや相互理解を深めた。

今後の拠点施設整備及び全国展開を見据え、継続的に活動へ関わる人材育成の基盤づくりを進めた。

実施実績

表 10 活動区分別実施実績

活動区分	実施回数	参加人数	再生回数	実施時間 (分)
教育的講話・交流活動	1	1,200	—	95
参加・共創型活動	24	194	—	15,840
合計	25	1,394		15,935

実施体制

劇団四季・宝塚歌劇団出身者を含むプロパフォーマーが中心となり、社会人パフォーマーに対して、歌唱、身体表現、舞台表現等の指導及び実践機会の提供を行った。

社会人パフォーマーには、医療・福祉・教育関係者、病児家族、一般企業勤務者等、多様な立場の参加者が所属し、互いに学び合いながら活動を実施した。

実施結果

講座及び実践参加を通じて、参加者の表現力や現場対応力の向上が見られた。

また、公演運営やイベント時には、社会人パフォーマーがボランティアスタッフとして活動を支え、来場者対応、誘導、安全配慮、運営補助等において重要な役割を担った。

社会人パフォーマーの中には、自らの経験や専門性を活かし、子ども達や家族に寄り添った関わりを実践する姿も多く見られた。

4. 法人運営に関する事項

4-1. 法人拠点施設「心魂研究所」の整備

当法人では、継続的な活動基盤の構築及び将来的な育成・創作活動の拠点整備を目的として、千葉県いすみ市に法人拠点施設「心魂研究所」の整備を進めた。本施設は、公演準備、機材管理、作品創作、人材育成、合宿・研修等を実施できる拠点として活用を予定しており、心魂キッズ団、Youth心魂、社会人パフォーマー等の関係者が安心して集い、活動できる環境づくりを目指している。2025年3月には、臨時理事会及び臨時総会において物件購入及び今後の整備方針について協議・承認を行った。当年度は、残置物整理、防音室移設準備、害獣及び白アリ対策、設備確認等を進めるとともに、多くの関係者・支援者の協力を得ながら施設整備を実施した。また、今後の稽古場整備や安全対策等も見据え、段階的な環境整備を進めた。

4-2. 社宅使用規定及び契約書の整備

法人拠点施設の整備に伴い、活動運営及び人材育成体制の強化を目的として、社宅使用規定及び社宅使用契約書の整備を行った。

本規定では、使用対象者、費用負担区分、光熱費、インターネット利用料、災害備蓄協力費等について定めるとともに、運営の公正性及び透明性の確保を目的として整備を行った。

また、実際の運用にあたっては、個別契約書を締結したうえで使用を行う体制を整備した。

なお、出演報酬規程及び業務委託契約書についても、実態に即した見直し及び整理を行い、法人運営体制の整備を進めた。

5. 2025 年度 主な受賞・掲載実績

(1) 社会貢献者表彰 受賞

公益財団法人 社会貢献支援財団による「社会貢献者表彰」を受賞した。

難病児・障がい児・きょうだい児へ舞台芸術体験を届ける活動や、病院・学校・福祉施設等への訪問公演、オンライン配信等を通じた継続的な実践が評価された。

同表彰は、

「社会と人間の安寧と幸福のために貢献し、顕著な功績を挙げながらも、社会的に報われることの少なかった方々」

を顕彰することを目的として実施されている。

(2) 第 56 回 博報賞 受賞

公益財団法人 博報堂教育財団による「第 56 回 博報賞」を受賞した。

難病児・障がい児・きょうだい児へ“心が動く体験”を届け、表現活動や社会発信へとつなげる継続的な実践が評価された。

また、視線入力やスイッチ操作等も活用しながら、一人ひとりの特性に応じた表現活動を支援し、主体的な表現意欲を育む取り組みが、特別支援教育及び独創的な教育実践として高く評価された。



※各受賞・掲載記事等の詳細は法人 Web サイト等参照

※写真は社会貢献者表彰より

(3) 主なメディア掲載・取材（一部抜粋）

2025 年度は、難病児・障がい児・きょうだい児を取り巻く「体験格差」や、表現活動を通じた社会参加・自己表現支援の取り組みについて、複数のメディアにて紹介・取材を受けた。

1. TBS「news23」密着取材・特集放送

「体験格差」や、病気や障がいのある子ども達へ“心が動く体験”を届ける活動について特集された。



2. 朝日新聞 全国版朝刊 一面掲載

朝日新聞全国版朝刊「フロントランナー」にて、共同代表 寺田真実のインタビュー及び活動紹介記事が掲載された。



心魂プロジェクトのステージ衣装を着てポーズ。左から加藤伊吹さん、寺田真実さん、有永美奈子さん、岩本潤子さん＝千葉県

病気や障害ある子に公演届ける

心魂プロジェクト共同代表

寺田 真実さん (53歳)

昨年12月、万国旗をモチーフにした川崎市の中級支援学校の体育館。特注の大きな車いすに乗った子どもたち、涙のあふるで語りかける。「さあ、みんなで世界旅行へ行こう」のじやかなパリトで歌が始

法で表現してみよう」
 シチズン時計の関連会社で海外を駆け回っていたが、26歳で劇団四季の選考に挑戦し、ミュージカル俳優に転身。骨古を重ね、「オペラ座の怪人」「キヤッツ」など約3千のステージには充実していたが、40歳を前に迷いが生じた。
 気になっていたのは、病気や障害のため劇場に來れない子どもたちのこと。わくわくする体験は音の権利にはずなのに彼らは支え足りない。ならば自分たちが歌や音楽のハフォーイマンスを届けられないか。その思いが抑えきれなくなった。
 2018年に退団し横浜を拠点に発足した心魂プロジェクトを始めた。もう一人の共同代表は宝塚歌劇団と四季の舞台に立つた妻の有永美奈子さん48。電気代も払えない低収入期や全公演中止のコロナ禍による窮乏を乗り越え、ハフォーイマンスのデリパリーは950回を越えた。
 音楽の照明の機材をびんに積んで病院や学校、公共施設へ行く。今年度は北海道から沖縄まで、さらに台湾でもツアーをした。広域の気持をため込む川能登の被災地も訪れた。空いた時間で頻りにライブ配信をする。観客の中には、何度も入浴する子、登校と通院以外の外出が難しい子、命が短いとも言われている子もいる。感染が生命に関わるのでメンバーはマスク以外はマスクを着け、公演中も消毒薬で手を除菌する。
 制約が多い子どもたちが、せっかくなので「劇団空間」で受け身ではない。公演ではステージの前にもういごとと仮え、声を出して踊ったりも大歓迎。歌えなくても強運がゆつくりでも「あなたなりの表現をしてみよう」と励ます。
 口癖のように「いま、命を燃やせ」と言っているのは、55歳だった母親が脳梗塞後に急死した経験から、自分が幼いとき、声と歌をほめ続け、歌い手になる土台を作ってくれた人だ。
 その年齢が近づき、千葉に広い民家を中古で買った。心魂研究所」を掲げ、参加を希望する若者や社会人を育て、活動の質をさらに高める拠点とする。「天に帰る前にやれるだけのことをしましませ」と涙がぐとこぼれた。文・上野 真実・藤谷 晋吾

※朝日新聞 2026年2月14日掲載
 ※朝日新聞社に無断で転載することを禁じる
 ※承諾番号 26-1183

3. 神奈川新聞掲載 (博報賞関連記事)

博報賞受賞に関連し、特別支援教育領域における実践や、子ども達の表現活動について紹介された。



6.今後の展望

2026年度 重点方針

重点取組	内容	目指す成果
心魂研究所の本格整備	稽古場を完成させ、育成・作品制作・配信・交流の拠点として活用する	人材育成と創作活動の安定化
次世代・当事者メンバーの育成	次世代を担う人材・表現者を育てる環境を整備する	新たな表現者・担い手・活動家の育成
公演・作品制作の質の向上	新作制作、既存作品のブラッシュアップ、演出・音楽・映像等を強化する	公演体験価値の向上
企業・財団等との協働強化	協賛、公演、社員ボランティア、共同企画、発信等を進める	持続可能な協働モデルの構築
千葉県内での地域展開	大型イベント、地域連携活動を本格化する	千葉県に根ざした活動基盤の形成
オンライン・ハイブリッド活動の継続発展	病室・自宅・施設から参加できる配信活動を継続する	外出困難な子どもたちへの継続的な体験提供
持続可能な運営基盤の強化	助成・協賛・寄付・自主事業・販売事業のバランスを整える	活動継続のための財政基盤強化

2025年度は、対面公演の本格的な再開・拡大に加え、オンライン活動の継続、企業協賛による公演活動、地方地域での大型企画、海外公演、法人拠点施設「心魂研究所」の取得・整備等、今後の活動展開につながる重要な取り組みを進めた一年となった。

2026年度以降は、これまで積み重ねてきた活動をさらに発展させ、「心が動く体験」を届けるだけでなく、子どもたちや次世代メンバー自身が“表現者”“発信者”として育っていく環境整備を進めていく。

法人拠点施設「心魂研究所」については、稽古、配信、作品制作、人材育成、交流等を行う活動拠点として段階的な整備を進め、継続的な創作活動及び育成活動を実施できる基盤づくりを目指す。また、オンライン配信、訪問公演、対面公演を組み合わせながら、病室、施設、自宅等から参加できる環境づくりを継続し、外出や移動が難しい子どもたちへ継続的に活動を届けていく。

公演活動においては、新作制作及び既存作品のブラッシュアップを進め、演出・音楽・映像等の充実を図りながら、公演体験価値の向上を目指す。また、病院、福祉施設、特別支援学校、地域団体等との連携を深め、地域に根ざした活動を継続していく。

教育・人材育成においては、心魂キッズ団、Youth心魂、社会人パフォーマー、育成メンバー等が、それぞれの立場から活動へ関わり、学びと実践を積み重ねられる環境づくりを進める。表現技術だけでなく、現場実習や運営補助等も含めた実践的な学びを通じて、次世代の担い手育成につなげていく。

また、企業・財団・教育機関・医療福祉関係者等との協働をさらに深め、協賛公演、講演・研修、社員ボランティア、共同企画等を通じた持続可能な協働モデルの構築を進める。千葉県内においては、地域団体、行政、医療福祉関係者等との連携を深め、地域に根ざした活動基盤の形成を目指す。海外展開については、台湾公演等で得た経験を踏まえながら、引き続き継続的な関係づくりや実施体制の検討を進め、アジア地域における交流及び活動の可能性を模索していく。

今後も心魂プロジェクトは、「ワクワク・ドキドキ・感動を難病児・障がい児・きょうだい児とご家族へ」という理念のもと、支援する・されるという関係を超え、多様な立場の人々が出会い、共に表現し、つながり合う場づくりを全国各地で継続していく。

7. 2025 年度 決算報告

表 11 活動計算書

収入の部		支出の部			
自主事業		事業費		管理費	
公演事業	9,723,137	人件費	12,164,548	人件費	9,028,988
ワークショップ事業	0	旅費交通費	7,739,745	車 両 費	487,789
講演会事業	200,000	印刷製本費	646,448	通信運搬費	639,880
作品制作・販売事業	635,456	作品制作費・機材費	363,890	消耗品費	984,301
教育事業	2,227,157	車 両 費	348,565	地代 家賃	669,180
その他収益	3,004,372	通信運搬費	150,146	修繕費	1,025,964
他収益		消耗品費	298,658	その他	7,239,254
受取会費	168,000	水道光熱費	49,628	管理費 計	20,075,356
受取寄付金	8,016,228	地代 家賃	728,328	経常費用	45,152,603
受取助成金	28,988,000	会場費	1,569,800	当期経常増減額	8,041,773
受贈益	232,026	感染予防費	141,840	当期正味財産増減額	7,773,253
施設等受入評価益	0	その他	875,651	前期繰越正味財産額	13,068,428
経常収益 計	53,194,376	事業費 計	25,077,247	次期繰越正味財産額	20,841,681

事業別収支概要

本年度は、助成金、協賛金、寄付金、自主事業収入等を活用しながら、オンライン・対面双方の活動を実施した。

公演活動事業においては、病院・福祉施設・特別支援学校・地域会場等において継続的な活動を実施したほか、オンライン配信活動についても継続して行った。

また、教育・育成活動、ワークショップ、講演活動等についても、各事業の目的に応じて実施した。事業実施にあたっては、人件費、旅費交通費、会場関連費、通信費、機材関連費等を支出し、全国各地での活動運営を行った。

8.会議の開催に関する事項

(1) 通常総会

開催日	開催方法	主な議題
2025年5月28日	オンライン開催 (Zoom)	2024年度事業報告承認、2024年度決算承認、2025年度事業計画承認、2025年度予算承認、拠点施設整備状況報告、社宅規程報告、法人住所移転準備について、報酬規程及び業務委託契約の改訂、役員報酬に関する確認

(2) 理事会

開催日	開催方法	主な議題
2025年5月28日	オンライン開催 (Zoom)	2024年度事業報告及び決算確認、2025年度事業計画及び予算確認 社宅規定及び契約の報告、業務委託契約及び報酬規程の報告、任期満了に伴う理事改選
2025年7月1日	オンライン開催 (Zoom)	理事長選任について

当法人では、オンライン会議システム等も活用しながら、理事会及び総会を適切に開催し、事業運営・組織運営・会計管理・規程整備等について協議及び意思決定を行った。

特に2025年度は、将来の活動基盤構築を目的とした拠点施設整備や、次世代育成に向けた運営体制整備について重点的に協議を行った。

巻末資料

資料 1-1 公演事業・主な対面、ハイブリッド公演一覧

※「有料公演」は、依頼団体・施設等から公演料をいただいて実施した公演を指します。

日付	公演区分	実施先/公演名	地域	形式	備考
4月26日	参加・共創型活動	チャリティコンサート	神奈川県	対面	無償公演
5月2日	支援学校活動	町田の丘学園	東京都	対面	日本生命協賛
5月4日	病院・福祉連携活動	あいのカタチ	北海道	対面	有料公演
5月5日	病院・福祉連携活動	あいのカタチ	北海道	対面	有料公演
5月14日	病院・福祉連携活動	箱根病院	神奈川県	対面	有料公演
5月21日	病院・福祉連携活動	光陽園	千葉県	対面	有料公演
5月24日	病院・福祉連携活動	エスコートセンターつながる	茨城県	対面	有料公演
5月25日	病院・福祉連携活動	エスコートセンターつながる	茨城県	対面	有料公演
5月27日	支援学校活動	平塚支援学校	神奈川県	対面	日本生命協賛
5月31日	病院・福祉連携活動	かけはしネット	茨城県	対面	有料公演
6月2日	支援学校活動	七尾特別支援学校	石川県	対面	野村グループ基金助成
6月3日	病院・福祉連携活動	七尾病院	石川県	対面	野村グループ基金助成
6月6日	病院・福祉連携活動	医王病院	石川県	対面	野村グループ基金助成
6月7日	病院・福祉連携活動	全国保育士協議会	石川県	ハイブリッド	有料公演

6月9日	支援学校活動	いしかわ特別支援学校	石川県	対面	野村グループ基金助成
6月11日	病院・福祉連携活動	社会福祉法人すず椿	石川県	対面	野村グループ基金助成
6月12日	支援学校活動	七尾特別支援学校珠洲分校	石川県	対面	野村グループ基金助成
6月13日	支援学校活動	七尾特別支援学校輪島分校	石川県	対面	野村グループ基金助成
6月16日	支援学校活動	小松瀬領特別支援学校	石川県	対面	野村グループ基金助成
6月26日	支援学校活動	東俣野特別支援学校	神奈川県	対面	日本生命協賛
7月6日	病院・福祉連携活動	特定非営利活動法人つどい	千葉県	対面	TOOTH FAIRY 助成
7月10日	支援学校活動	麻生支援学校	神奈川県	対面	日本生命協賛
7月12日	病院・福祉連携活動	東三河ブロック父母の会連絡協議会	愛知県	対面	有料公演
7月14日	病院・福祉連携活動	名古屋大学医学部附属病院	愛知県	対面	TOOTH FAIRY 助成
7月22日	病院・福祉連携活動	千葉リハビリテーションセンター愛育園	千葉県	対面	TOOTH FAIRY 助成
7月23日	病院・福祉連携活動	千葉大学医学部附属病院	千葉県	対面	TOOTH FAIRY 助成
8月2日	支援学校活動	光明学園	東京都	対面	有料公演
8月3日	病院・福祉連携活動	横浜子どもホスピス	神奈川県	対面	日本生命協賛
8月6日	病院・福祉連携活動	光陽園	神奈川県	対面	有料公演
8月9日	病院・福祉連携活動	Burano	茨城県	対面	日本生命協賛
8月10日	病院・福祉連携活動	にじいろ	埼玉県	対面	有料公演
8月20日	病院・福祉連携活動	香取障害者基幹相談センター	千葉県	対面	TOOTH FAIRY 助成
8月27日	病院・福祉連携活動	千葉東病院	千葉県	対面	有料公演
8月30日	病院・福祉連携活動	障害児相談支援・てとて相談室	千葉県	対面	TOOTH FAIRY 助成
9月2日	病院・福祉連携活動	社会福祉法人アルムの森 ピッチーの丘	千葉県	対面	TOOTH FAIRY 助成
9月5日	支援学校活動	熊谷特別支援学校	埼玉県	対面	日本生命協賛
9月14日	地域・会場型活動	珠洲ビーチホテル	石川県	対面	無償公演
9月15日	病院・福祉連携活動	長寿園/仮設住宅	石川県	対面	無償公演
9月19日	支援学校活動	西宮支援学校	兵庫県	対面	日本生命協賛
9月20日	病院・福祉連携活動	西宮市肢体不自由児者父母の会 (NFB)	兵庫県	対面	有料公演
9月21日	病院・福祉連携活動	マザーリーフ～姫路市肢体不自由児者のこれからを考える会	兵庫県	対面	有料公演
9月24日	病院・福祉連携活動	広島大学病院小児病棟	広島県	対面	TOOTH FAIRY 助成
9月25日	病院・福祉連携活動	株式会社あべにーる	広島県	対面	TOOTH FAIRY 助成
9月28日	地域・会場型活動	広島大型公演	広島県	対面	TOOTH FAIRY 助成
10月2日	支援学校活動	しげのぶ特別支援学校	愛媛県	対面	日本生命協賛
10月5日	病院・福祉連携活動	NEXTEP	熊本県	対面	日本生命協賛
10月9日	病院・福祉連携活動	別府発達支援医療センター 整肢園	大分県	対面	TOOTH FAIRY 助成

10月10日	支援学校活動	新生支援学校	大分県	対面	TOOTH FAIRY 助成
10月13日	地域・会場型活動	大分大型公演	大分県	対面	TOOTH FAIRY 助成
10月16日	病院・福祉連携活動	バンビーノ福祉会	福岡県	対面	TOOTH FAIRY 助成
10月16日	病院・福祉連携活動	久留米大学病院	福岡県	対面	TOOTH FAIRY 助成
10月19日	地域・会場型活動	福岡大型公演	福岡県	対面	TOOTH FAIRY 助成
10月21日	支援学校活動	久留米特別支援学校	福岡県	対面	TOOTH FAIRY 助成
10月24日	病院・福祉連携活動	名古屋大学医学部附属病院	愛知県	対面	有料公演
10月28日	支援学校活動	花田養護学校	長野県	対面	日本生命協賛
11月5日	支援学校活動	秋田きらり支援学校	秋田県	対面	日本生命協賛
11月7日	コラボレーション企画	シャイン・オン!キッズ	東京都	対面	有料公演
11月8日	地域・会場型活動	ワクワクつながる祭典 2025 in 秋田	秋田県	対面	TOOTH FAIRY 助成
11月9日	地域・会場型活動	ワクワクつながる祭典 2025 in 秋田	秋田県	対面	TOOTH FAIRY 助成
11月13日	支援学校活動	むつ養護学校	青森県	対面	日本生命協賛
11月16日	コラボレーション企画	ワクワクつながるこどもフェスタ	北海道	対面	有料公演
11月18日	病院・福祉連携活動	札幌北楡病院	北海道	対面	TOOTH FAIRY 助成
11月19日	病院・福祉連携活動	北海道大学病院	北海道	対面	TOOTH FAIRY 助成
11月22日	病院・福祉連携活動	テレサの丘	北海道	対面	日本生命協賛
12月5日	病院・福祉連携活動	台湾大学医学部附属病院 小児病棟	台湾	対面	メナード化粧品協賛
12月8日	病院・福祉連携活動	新竹馬偕兒童醫院	台湾	対面	メナード化粧品協賛
12月17日	支援学校活動	中原支援学校	神奈川県	対面	日本生命協賛
12月18日	支援学校活動	君津特別支援学校	千葉県	対面	TOOTH FAIRY 助成
12月23日	病院・福祉連携活動	千葉県こども病院	千葉県	対面	TOOTH FAIRY 助成
12月27日	病院・福祉連携活動	平塚ポコポコの会	神奈川県	対面	TOOTH FAIRY 助成
12月28日	病院・福祉連携活動	印西ハーモニーの会	千葉県	対面	TOOTH FAIRY 助成
1月9日	学校・企業向け活動	有明中学校	東京都	対面	有料公演
1月14日	支援学校活動	仁戸名特別支援学校	千葉県	対面	TOOTH FAIRY 助成
1月16日	支援学校活動	北綱島特別支援学校	神奈川県	対面	日本生命協賛
1月17日	支援学校活動	聖坂支援学校	神奈川県	対面	有料公演
1月19日	学校・企業向け活動	月島第二小学校	東京都	対面	有料公演
1月27日	支援学校活動	桜野特別支援学校	沖縄県	対面	日本生命協賛
1月29日	支援学校活動	島尻特別支援学校	沖縄県	対面	日本生命協賛
1月31日	病院・福祉連携活動	一般社団法人ふたふぁ	沖縄県	対面	有料公演
2月1日	病院・福祉連携活動	世界ダウン症の日イベント	沖縄県	対面	有料公演
2月3日	支援学校活動	名護特別支援学校	沖縄県	対面	日本生命協賛
2月25日	病院・福祉連携活動	社会福祉法人きなり	茨城県	対面	有料公演
3月7日	地域・会場型活動	ワクワクつながる祭典 2026	神奈川県	対面	TOOTH FAIRY 助成

3月14日	病院・福祉連携活動	兵庫県肢体不自由児者60周年	兵庫県	対面	有料公演
3月16日	病院・福祉連携活動	あゆみの家	東京都	対面	有料公演
3月17日	病院・福祉連携活動	あゆみの家	東京都	対面	有料公演
3月20日	病院・福祉連携活動	ふたば	千葉県	対面	無償公演
3月25日	病院・福祉連携活動	千葉東病院	千葉県	対面	有料公演
3月26日	病院・福祉連携活動	済生会横浜市東部病院	神奈川県	対面	TOOTH FAIRY 助成
3月27日	病院・福祉連携活動	いんば学舎陣屋	千葉県	対面	TOOTH FAIRY 助成
3月29日	ハイブリッド活動	みんなで卒業式	神奈川県	ハイブリッド	TOOTH FAIRY 助成

資料1-2 公演事業・主なオンライン公演一覧

※オンライン活動は、一般向け無償公開配信「心魂公式」に加え、限定公開配信「心魂TV」を実施

日付	公演区分	実施先/公演名	地域・配信媒体	形式	備考
4月8日	オンライン活動	加藤×寺田×α?ライブ	心魂公式	オンライン	TOOTH FAIRY 助成
4月15日	オンライン活動	加藤×寺田×α?ライブ	心魂公式	オンライン	TOOTH FAIRY 助成
4月21日	オンライン活動	坪井と森田と一緒に音楽!	心魂公式	オンライン	TOOTH FAIRY 助成
4月23日	オンライン活動	坪井と森田と一緒に音楽!	心魂公式	オンライン	TOOTH FAIRY 助成
4月25日	オンライン活動	坪井と森田と一緒に音楽!	心魂公式	オンライン	TOOTH FAIRY 助成
4月28日	オンライン活動	春の大型ライブ!!	心魂公式	オンライン	TOOTH FAIRY 助成
5月2日	オンライン活動	坪井と森田と一緒に音楽!	心魂TV	オンライン	TOOTH FAIRY 助成
5月4日	オンライン活動	坪井と森田と一緒に音楽!	心魂公式	オンライン	TOOTH FAIRY 助成
5月6日	オンライン活動	坪井と森田と一緒に音楽!	心魂公式	オンライン	TOOTH FAIRY 助成
5月9日	オンライン活動	加藤×寺田×α?ライブ	心魂公式	オンライン	TOOTH FAIRY 助成
5月18日	オンライン活動	【対談ライブ】iPresence×心魂	心魂公式	オンライン	TOOTH FAIRY 助成
5月19日	オンライン活動	【対談ライブ】iPresence×心魂	心魂公式	オンライン	TOOTH FAIRY 助成
5月20日	オンライン活動	【対談ライブ】iPresence×心魂	心魂公式	オンライン	TOOTH FAIRY 助成
8月29日	オンライン活動	8月大型ライブ	心魂公式	オンライン	TOOTH FAIRY 助成
9月1日	病院・福祉連携活動	一般社団法人富山型デイサービスまんまる	沖縄県	オンライン	TOOTH FAIRY 助成
9月7日	オンライン活動	加藤×寺田デュエット	心魂公式	オンライン	TOOTH FAIRY 助成
11月28日	学校・企業向け活動	海外IT企業	Webex	オンライン	無償公演
12月20日	オンライン活動	クリスマス大型ライブ	心魂公式	オンライン	TOOTH FAIRY 助成
12月21日	オンライン活動	日本生命協賛オンライン公演	心魂公式	オンライン	日本生命協賛
12月24日	病院・福祉連携活動	箱根病院	You Tube	オンライン	有料公演
12月24日	オンライン活動	加藤×寺田デュエットライブ	心魂公式	オンライン	TOOTH FAIRY 助成
12月26日	病院・福祉連携活動	うみと太陽	沖縄県	オンライン	TOOTH FAIRY 助成
12月31日	オンライン活動	大晦日大型ライブ	心魂公式	オンライン	TOOTH FAIRY 助成
1月1日	オンライン活動	お正月ご挨拶配信	心魂公式	オンライン	TOOTH FAIRY 助成

1月10日	病院・福祉連携活動	ひだまり(チャイルドサポートみやこ)	沖縄県	オンライン	TOOTH FAIRY 助成
1月10日	オンライン活動	【対談】全国医療的ケアライン×心魂	心魂公式	オンライン	TOOTH FAIRY 助成
1月11日	オンライン活動	加藤×寺田デュエット	心魂公式	オンライン	TOOTH FAIRY 助成
1月21日	病院・福祉連携活動	熊本再春医療センター	You Tube	オンライン	有料公演
1月21日	オンライン活動	【対談】秋田の未来に出会う!	心魂公式	オンライン	TOOTH FAIRY 助成
2月18日	オンライン活動	加藤×寺田デュエットライブ	心魂公式	オンライン	TOOTH FAIRY 助成
2月20日	オンライン活動	加藤×寺田デュエットライブ	心魂公式	オンライン	TOOTH FAIRY 助成
2月23日	学校・企業向け活動	日本生命協賛こころだま オンライン公演	You Tube	オンライン	日本生命協賛
2月23日	オンライン活動	【対談】キヤスク・前田さん×寺田	心魂公式	オンライン	TOOTH FAIRY 助成
2月27日	支援学校活動	早島支援学校	岡山県	オンライン	TOOTH FAIRY 助成
2月27日	オンライン活動	【対談】キープ・スマイリング×心魂	心魂公式	オンライン	TOOTH FAIRY 助成
3月4日	病院・福祉連携活動	社会福祉法人キャンパスの会	宮崎県	オンライン	TOOTH FAIRY 助成
3月4日	オンライン活動	【対談】キープ・スマイリング×心魂	心魂公式	オンライン	TOOTH FAIRY 助成
3月10日	病院・福祉連携活動	群馬整肢療護園	群馬県	オンライン	TOOTH FAIRY 助成
3月10日	オンライン活動	キッズ団祭り	心魂公式	オンライン	TOOTH FAIRY 助成
3月14日	オンライン活動	パノラボってどんな人	心魂公式	オンライン	TOOTH FAIRY 助成
3月21日	オンライン活動	みさ×まーくんデュエット	心魂公式	オンライン	TOOTH FAIRY 助成
3月21日	オンライン活動	キッズ団祭り	心魂公式	オンライン	TOOTH FAIRY 助成
3月22日	病院・福祉連携活動	fuwaRi 函館	北海道	オンライン	TOOTH FAIRY 助成
3月22日	オンライン活動	キッズ団祭り	心魂公式	オンライン	TOOTH FAIRY 助成
3月23日	病院・福祉連携活動	どうぶつの森キルト	滋賀県	オンライン	TOOTH FAIRY 助成
3月27日	オンライン活動	パノラボの音楽祭り	心魂公式	オンライン	TOOTH FAIRY 助成
3月30日	病院・福祉連携活動	ひまわり	沖縄県	オンライン	TOOTH FAIRY 助成
3月30日	オンライン活動	キッズ団祭り	心魂公式	オンライン	TOOTH FAIRY 助成

資料2 主なワークショップ等実施一覧

日付	公演区分	実施先	地域	形式	ワークショップ区分
5月26日	支援学校活動	平塚支援学校	神奈川県	対面	公演連動型
6月25日	支援学校活動	東俣野特別支援学校	神奈川県	対面	公演連動型
8月8日	病院・福祉連携活動	Burano	茨城県	対面	公演連動型
9月18日	支援学校活動	西宮支援学校	兵庫県	対面	公演連動型
10月1日	支援学校活動	しげのぶ特別支援学校	愛媛県	対面	公演連動型
10月4日	病院・福祉連携活動	NEXTEP	熊本県	対面	公演連動型
10月12日	地域・会場型活動	大分大型公演	大分県	対面	公演連動型
10月27日	支援学校活動	花田養護学校	長野県	対面	公演連動型

11月5日	支援学校活動	秋田きらり支援学校	秋田県	対面	公演連動型
11月7日	地域・会場型活動	ワクワクつながる祭典 2025 in 秋田	秋田県	対面	公演連動型
11月12日	支援学校活動	むつ養護学校	青森県	対面	公演連動型
12月16日	支援学校活動	中原支援学校	神奈川県	対面	公演連動型
1月28日	支援学校活動	島尻特別支援学校	沖縄県	対面	公演連動型
2月2日	支援学校活動	名護特別支援学校	沖縄県	対面	公演連動型
1月8日	学校・企業向け活動	有明中学校	東京都	対面	公演連動型
2月25日	病院・福祉連携活動	社会福祉法人きなり	茨城県	対面	公演連動型

資料3 講話・研修活動実施一覧

※音楽やパフォーマンスを交えながら、体験型・対話型プログラムとして実施。

日付	活動区分	実施先	地域	形式	備考
5月11日	コラボレーション企画	小児病棟わくわく応援団	東京都	対面	
5月16日	学校・企業向け活動	青山学院大学	東京都	対面	
5月16日	学校・企業向け活動	海外IT企業	オンライン	オンライン	
6月7日	病院・福祉連携活動	全国保育士協議会	石川県	ハイブリッド	
7月4日	学校・企業向け活動	青山学院大学	東京都	対面	
8月19日	学校・企業向け活動	日本生命保険相互会社	東京都	対面	
9月12日	学校・企業向け活動	日本生命保険相互会社	大阪府	対面	
12月9日	学校・企業向け活動	旭日ロータリークラブ	台湾	対面	
2月24日	病院・福祉連携活動	社会福祉法人きなり	茨城県	対面	

資料4 主な教育事業実施一覧

※社会人育成講座は、対面とオンラインを併用したハイブリッド形式で実施。

日付	活動区分	実施先	地域	形式	備考
4月5日	参加・共創型活動	社会人パフォーマー育成講座	神奈川県	ハイブリッド	
5月17日	参加・共創型活動	社会人パフォーマー育成講座	神奈川県	ハイブリッド	
6月27日	学校・企業向け活動	茨城キリスト教学園	茨城県	対面	
6月28日	参加・共創型活動	社会人パフォーマー育成講座	神奈川県	ハイブリッド	
7月26日	参加・共創型活動	社会人パフォーマー育成講座	神奈川県	ハイブリッド	
8月16日	参加・共創型活動	社会人パフォーマー育成講座	神奈川県	ハイブリッド	
9月6日	参加・共創型活動	社会人パフォーマー育成講座	神奈川県	ハイブリッド	
10月4日	参加・共創型活動	社会人パフォーマー育成講座	神奈川県	ハイブリッド	
11月29日	参加・共創型活動	社会人パフォーマー育成講座	神奈川県	ハイブリッド	
12月13日	参加・共創型活動	社会人パフォーマー育成講座	神奈川県	ハイブリッド	
1月12日	参加・共創型活動	社会人パフォーマー育成講座	神奈川県	ハイブリッド	
2月21日	参加・共創型活動	社会人パフォーマー育成講座	神奈川県	ハイブリッド	

2月28日	参加・共創型活動	社会人パフォーマー育成講座	神奈川県	ハイブリッド	
-------	----------	---------------	------	--------	--

資料5 助成・協賛事業一覧

区分	支援団体名	支援内容
助成	公益財団法人 日本財団寄付金支援事業 「TOOTH FAIRY プロジェクト」	全国公演、オンライン事業、大型イベント事業
助成	野村グループ基金「みらい助成プログラム」	能登被災地支援事業
協賛	日本生命保険相互会社	協賛公演事業（全国・オンライン）
協賛	日本メナード化粧品株式会社	海外（台湾）公演事業

資料6 活動実施地域数

項目	数
実施都道府県数	24 地域（台湾含む）
オンライン参加地域	全国

※北海道から沖縄まで全国各地及び台湾にて活動を実施。

資料7 連携機関・団体数

分類	件数
病院・医療機関	17 施設
特別支援学校	27 校
福祉施設	26 施設
当事者団体・患者会	10 団体
行政・相談支援機関	2 機関
学校・教育機関	4 校
企業・団体	4 団体

※医療・福祉・教育・地域団体等、多様な機関と連携しながら活動を実施した。

連携プロジェクト紹介

小児病棟わくわく応援団

当法人は、「小児病棟わくわく応援団」の一員として、他団体と連携しながら、小児病棟や病児支援に関する普及啓発活動等に取り組んだ。

本年度は、共同イベントの開催、オンライン勉強会の実施、学会等における普及啓発活動などを通じ、病児・きょうだい児・家族支援に関する情報共有及び発信を行った。

【連携団体】

- ・ 認定 NPO 法人日本クリニクラウン協会
- ・ 認定 NPO 法人 難病のこども支援全国ネットワーク
- ・ 認定特定非営利活動法人 キープ・スマイリング
- ・ NPO 法人しぶたね
- ・ 一般社団法人星つむぎの村
- ・ 特定非営利活動法人心魂プロジェクト